

## 2021年1月 キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) 文化省前における集会

#### 2 外交

- (1) 制裁リストへの追加に対するロドリゲス外務大臣による非難
- (2) プラク・ソコン・カンボジア副首相兼外相との会談
- (3) 米国議会議事堂襲撃事件に対するメッセージ発出
- (4) アリフ・アルビ・パキスタン大統領との会談
- (5) ウォルコット・バルバドス外務大臣との会談
- (6) 中国による新型コロナウイルス感染症対策に係る支援
- (7) キューバのテロ支援国家の指定に対する非難声明
- (8) コレイア・カーボベルデ首相との会談
- (9) 中国との相互査証免除協定署名
- (10) デルシー・ベネズエラ副大統領の訪問
- (11) G77プラス中国
- (12) ルーラ元ブラジル大統領の訪問
- (13) 第3回キューバEU共同審議会の開催
- (14) キューバ・ロシア外相会談
- (15) 安保理改革に関する政府間交渉会合
- (16) ロドリゲス・ペルー外務大臣との会談
- (17) カブリサス副首相のベネズエラ訪問
- (18) 新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

#### 3 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※1月31日23:59時点、保健省発表）
- (2) 新型コロナウイルス感染症のキューバ国産ワクチン
- (3) 新型コロナウイルス対策に係る規制強化

### 【本文】

#### 1 内政

- (1) 文化省前における集会

27日に発生した文化省前の集会について、文化省は、昨年11月27日に文化省前に集まった芸術家たちの代表3名と対話が予定されていたが、2時間以上にわたり、米国政府に資金援助を受けたメディアが状況をライブ動画で放映し続け、文化省職員は即座に対処にあたった旨発表しつつ、誠意ある文化関係者との対話を継続していく意志を再確認した。

ミゲル・ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて、国が米国による封鎖、新型コロナウイルスと闘っているときに、「芸術」を盾にし、政府の職員を執拗に挑発することは誠実ではない旨発信した。

## 2 外交

### (1) 制裁リストへの追加に対するロドリゲス外務大臣による非難

1日、米 국무省が国際金融銀行（BFI）を制裁リストに追加する旨発表したことに對し、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は自身のツイッターにて、「米 국무省による、キューバへの封鎖を強化する新たな懲罰的措置を拒絶する。制裁リストへのキューバ機関の追加は、62年間キューバ革命を破壊することができなかった経済封鎖を強化しようとするものである。」旨発信した。

### (2) プラク・ソコン・カンボジア副首相兼外相との会談

4日、リウルカ・ロドリゲス駐カンボジア・キューバ大使は、プラク・ソコン・カンボジア副首相兼外相と会談した。プラク・ソコン副首相兼外相は、キューバ・カンボジアの二国間関係の発展に満足の意を表明し、保健、教育、スポーツ、農業といった分野での協力の経験を活かし、今後も関係を強化していく意志を確認した。

### (3) 米国議会議事堂襲撃事件に対するメッセージ発出

7日、ディアスカネル大統領は、米国の議会議事堂襲撃事件に関し、自身のツイッターにて、犠牲になった人々へのお悔やみを表明し、暴力行為を拒否する旨発信した。ロドリゲス外務大臣も、自身のツイッターにて、深刻な暴力・破壊行為を非難し、これらは長年に亘る無責任な政策と憎悪の扇動の結果であり、国家システムの危機である旨発信した。

### (4) アリフ・アルビ・パキスタン大統領との会談

8日、ガブリエル・ティエル駐パキスタン・キューバ大使は、アリフ・アルビ・パキスタン大統領と会談した。アリフ・アルビ大統領は、貿易、経済、保健及び文化といった分野におけるキューバとの関係強化を望んでいる旨確認した。双方は、貿易・投資分野において如何なる協力が可能なのか特定する必要があるこ

とで一致した。

（５）ウォルコット・バルバドス外務大臣との会談

８日、セルヒオ・パストラナ駐バルバドス・キューバ大使は、ジェローム・ウォルコット・バルバドス外務大臣と会談した。双方は、カリブに位置する両国の様々な分野における良好な関係について意見交換を行い、その他の分野における関係拡大の可能性を検討するとともに、二国間関係を引き続き強化していくことで一致した。

（６）中国による新型コロナウイルス感染症対策に係る支援

８日、マルセリーノ・メディーナ外務次官と Chen Xi 駐キューバ中国大使は、新型コロナウイルスに対抗するための中国による医療機器の贈与に署名した。

（７）キューバのテロ支援国家の指定に対する非難声明

１１日、米国務省がキューバをテロ支援国家に指定したことに対し、同日、キューバ外務省は本件指定を非難する概要以下の声明を発出した。

ア 外務省は、偽善的な行為として米国政府から発表された、キューバをテロ支援国家に指定するという不正を、最も強く絶対的な言葉で非難する。

イ マイク・ポンペオ米国務長官による発表は、権威が失墜し不誠実で倫理的に破綻している政府による尊大な行為である。この行動の本当の動機が、キューバと米国の二国間関係の回復へのどんな展望に対しても追加的な障がいを押しつけるものであることは、疑う余地が無い。

ウ キューバはテロ支援国家ではないことは、全ての人々に知られている真実である。キューバによる公的かつ良く知られている政策及び非の打ちどころのない態度は、特に国家的なテロ行為を始め、誰によって、誰に対して、どんな場所で行われようとも、いかなる形式及び表現のテロ行為を拒絶するというものである。

エ キューバはテロの被害国であり、キューバ国民はその身で被害を受けている。米国政府によって実行され、または米国本土から政府に資金援助され実行された行為によって、キューバは３４７８名の死者及び２０９９名の障がい者という犠牲を払っている。キューバ国民は、極めて重要なテロという問題を、政治的ご都合主義という無礼な目的のために不正操作するすべての策略を拒絶する。

（８）コレイア・カーボベルデ首相との会談

１１日、ジョゼ・ユリス・ドウ・ピナ・コレイア・エ・シルヴァ・カーボベルデ首相はロサ・ウィルソン駐カーボベルデ・キューバ大使に対し、新型コロナウイルス

イルス感染拡大に対するキューバ人医師の人道的な対応及びカーボベルデにおける顕著な功績に対し謝意を表明する書簡を渡した。コレイア首相は、キューバによるカーボベルデに対する恒常的な支援を確認し、同書簡は、二国間関係が非常に良好であることの証左である旨確認した。

#### （９）中国との相互査証免除協定署名

１３日、キューバ外務省は、アナヤンシ・ロドリゲス外務次官及び Chen Xi 駐キューバ中国大使が、外交・公用旅券所持者に対する相互査証免除協定に署名した旨を掲載した。

#### （１０）デルシー・ベネズエラ副大統領の訪問

１６日、キューバ外務省ホームページは、デルシー・ロドリゲス・ベネズエラ副大統領がキューバを訪問した旨を掲載した。

##### ア ディアスカネル大統領との会談

両者は最高の状態にある二国間関係を強調するとともに、両国情勢や国際・地域情勢など双方の関心事項について対話した。ディアスカネル大統領は、ベネズエラ国民へのキューバの変わらぬ連帯を強調し、ロドリゲス副大統領は米国によるキューバのテロ支援国家指定を非難した。

会談には、ベネズエラ側からアスドゥルバル・チャベス P D V S A 総裁及びアダマン・チャベス駐キューバ大使が、キューバ側からマヌエル・マレーロ首相、リカルド・カブリサス副首相及びロドリゲス外務大臣が、それぞれ同席した。

##### イ 米国による抑圧的かつ一方的措置に対する二国間監視機関創設の発表

デルシー副大統領は、ベネズエラとキューバが米国による抑圧的かつ一方的措置に対する二国間監視機関を創設することを発表した。発表の場には、カブリサス副首相及びロドリーゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が同席した。

#### （１１）G 7 7 プラス中国

１８日、G 7 7 プラス中国会議がオンライン方式で開催され、ルイス・ペドロソ・クエスタ国連代表大使が参加した。クエスタ大使は、G 7 7 プラス中国の創設時から、同グループと国連の歴史は関連しあうものであり、国連は「7 7 か国の途上国共同宣言」に基づく原則や価値を日に日に共有するようになっている旨述べた。また、G 7 7 は、我々途上国の統一性、連帯性、協力及び発展の権利の獲得を擁護するための防壁となり、より公平で平等な国際秩序を実現するための取組となっていると述べた。

#### （１２）ルーラ元ブラジル大統領の訪問

１９日、ラウル・カストロ第一書記及びディアスカネル大統領は、キューバ訪問中のルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ同志と会談した。親密な雰囲気の中、両者は両国国民及び党の間の歴史的で親密な関係について話し合われた。ルーラ元大統領は、キューバ国民による自身の完全なる自由の要求への連帯に謝意を表するとともに、トランプ政権による対キューバ経済封鎖の厳格化及びキューバのテロ支援国家指定を非難した。また、ブラジルにおけるキューバ人医師の人道的活動への評価を再確認するとともに、現在キューバが世界の国々に提供している支援を賞賛した。

同会談には、ブラジル側から新聞記者・政治家・作家であるフェルナンド・ゴメス・デ・モライス氏が、キューバ側からマレーロ首相及びロドリゲス外務大臣が、それぞれ同席した。

### （１３）第３回キューバＥＵ共同審議会の開催

２０日、第３回キューバＥＵ共同審議会がテレビ会談方式で開催され、キューバ側はロドリゲス外務大臣、ＥＵ側はジョセップ・ボレル外務・安全保障政策上級代表兼欧州委員会副委員長が、それぞれ代表を務めた。双方は昨年の二国間関係及び協力の進展を強調するとともに、その強化に向けて継続して取り組んでいく意志を繰り返した。ロドリゲス外務大臣は、この第３回共同審議会の開催が、既に合意された約束を果たし、関係強化に向けて進み、二国間関係を規定する枠組みとして政治対話及び協力に関する合意（ＡＤＰＣ）を強化し、地域及び地球規模課題に関する見方について意見交換するという両者の意志を表すものであると強調した。ボレル上級代表は、良好な二国間関係に言及しつつ、新型コロナウイルス対策を含めた協力実施の重要性を強調するとともに、米国による対キューバ経済制裁終了の必要性決議への支持及びヘルムズ・バートン法第３章及び第４章の適用に対する反対を確認した。さらに、ＥＵは、米国国務省によるキューバのテロ支援国家指定への拒絶を繰り返した。

同会議には、キューバ側からアナ・テレシータ・ゴンサレス外国貿易・外国投資省第一次官、ロドリゲス外務次官、ノルマ・ゴイコチエアＥＵ代表部大使が出席した。

### （１４）キューバ・ロシア外相会談

２１日、ロドリゲス外務大臣は、自身のツイッターにて、セルゲイ・ラヴロフ・ロシア外務大臣と電話会談を行った旨発信した。同会談では、二国間関係の現状について話し合うとともに、地域・国際情勢について意見交換が行われた。

### （１５）安保理改革に関する政府間交渉会合

25日、安保理改革に関する政府間交渉会合がニューヨークで開催され、キューバが出席した。キューバ代表は、途上国が十分に代弁されていない状況を是正するために安保理及び理事国数の拡大に対する支持を表明し、少なくとも理事国数は26か国以上になるべきであり、常任理事国には少なくともアフリカから2か国、アジアの途上国から2か国、中南米及びカリブ諸国から2か国が追加され、非常任理事国数は少なくとも15か国に拡大されるべきであると主張した。

#### (16) ロドリゲス・ペルー外務大臣との会談

25日、セルヒオ・ゴンザレス駐ペルー・キューバ大使は、エリサベス・アステテ・ロドリゲス・ペルー外務大臣と会談した。双方はこれまでの二国間関係について再確認し、世界的に新型コロナウイルスが拡大している中での両国の医療及び経済状況について分析を行った。双方は、2021年の下半期以降、「ソベラナ02」による協力の可能性を具体化していく必要があることで一致した。

#### (17) カブリサス副首相のベネズエラ訪問

28日から、カブリサス副首相率いる一行はベネズエラを訪問した。29日にはホルヘ・アレササ外務大臣と会談し、31日にはニコラス・マドゥーロ大統領と会談した。双方は、両国にとって共通の関心事項である様々な分野、特に、新型コロナウイルス感染症拡大への対応について協力を強化していくことを再確認した。カブリサス副首相は、両国に対する米国による一方的かつ強硬的な措置が激化する中でも二国間関係が進展したことを強調した。

訪問には、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、ニコラス・リバン・アロンテ・エネルギー・鉱業大臣、マルタ・ウィルソン・キューバ中央銀行総裁他が同行。

#### (18) 新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

1月29日付の外務省発表によると、キューバ人医療団の派遣先国以下のとおり（すでにキューバに帰国している医療団も含む）。1月には、追加的にバルバドスに15名が派遣された。

- ・ 英国領アンギラ
- ・ 仏領マルティニーク
- ・ 英国領バージン諸島
- ・ 英国領モンセラット
- ・ アンティグア・バーブーダ

- ・ グレナダ
- ・ セントルシア
- ・ セントクリストファー・ネービス
- ・ セントビンセント及びグレナディーン諸島
- ・ バルバドス
- ・ ドミニカ
- ・ トリニダード・トバゴ
- ・ ハイチ
- ・ 英国領タークス・カイコス諸島
- ・ ジャマイカ
- ・ ベリーズ
- ・ スリナム
- ・ メキシコ
- ・ ホンジュラス
- ・ ニカラグア
- ・ パナマ
- ・ ベネズエラ
- ・ ペルー
- ・ トーゴ
- ・ 赤道ギニア
- ・ エスワティニ王国
- ・ 南アフリカ
- ・ アンゴラ
- ・ サントメ・プリンシペ
- ・ カーボベルデ
- ・ ケニア
- ・ ギニア共和国
- ・ ギニア・ビサウ
- ・ シエラ・レオネ
- ・ アンドラ
- ・ イタリア
- ・ アゼルバイジャン
- ・ カタール
- ・ クウェート

### 3 新型コロナウイルス

(1) 新型コロナウイルス感染状況等(※1月31日23:59時点、保健省発表)

ア 感染者累計: 27592名

イ 死亡者数: 216名

ウ 退院者数: 21856名

エ 時刻帰国者数: 49名

オ 国外搬送者数: 2名

カ 入院中: 5469名(うち、危篤27名、重篤21名)

(2) 新型コロナウイルス感染症のキューバ国産ワクチン

ア 8日、最も治験が進んでいるソベラナ02について、同ワクチンを開発しているフィンライ・ワクチン研究所がイラン・パスツール研究所と合意を結び、イラン国内で治験を行う旨報じられた。

イ 20日、ビセンテ・ベレス・フィンライ・ワクチン研究所所長は記者会見を行い、キューバはソベラナ02を1億回分の接種量を生産する能力を目指している、接種は無償で、本年中にキューバ国民全員に免疫をつけることを目的としている旨発表した。また、ソベラナ02は今週治験第2段階が始まり、19歳から80歳までの900名に接種が予定されているほか、2月には18歳以下に対する接種を行う予定。第2段階の結果が良好であれば、第3段階として15万名ほどへの接種を行うことを見込んでいると述べた。

(3) 新型コロナウイルス対策に係る規制強化

ア 9日、キューバ政府(ハバナ県革命防衛委員会)は、国内において新型コロナウイルス感染症の感染が再び拡大している状況に鑑み、ハバナ県を回復に向けたフェーズ1(これまではフェーズ3)に後退させ、同県における各種防疫措置の再強化について概要以下のとおり発表した。

- 映画館、劇場、コンサートホール、バー、ナイトクラブを閉鎖。図書館、博物館、画廊はサービスを維持。
- 午後7時以降、公園、広場、その他公共の場所における滞在を禁止。但し、同じ場所に停滞することなく徒歩通行することは終日可能。
- レストラン、カフェの営業は午後7時までとし、店内での座席数を制限。テイクアウトの推奨。
- 私的なパーティーの禁止(不遵守者は罰金を科されるほか、裁判にかけられる場合がある。)
- 午後9時から午前5時までの間の公共交通機関及び個人タクシーの通行を停止。

- 1月12日午前0時以降、個人タクシーを含め、ハバナ県境を跨ぐ公共交通機関を停止。但し、公的機関または個人の車両（上記個人タクシーを除く）は、検問所を通過してハバナ県に出入り可能。
- ホセ・マルティ国際空港のサービスは維持。
- 国民及び外国人向けの観光事業は維持される（オプションルツアーは除く）。
- ホテルの宿泊者は収容数の6割、ホテルのプール利用者は3割に制限。
- 緊急でない病院サービスは5割に制限。
- 学校活動は維持。
- これまでどおり、マスクの着用や密閉空間での密集の回避を要請する他、国境で実施されている全ての旅行者へのPCR検査の実施などの各種防疫措置は維持され、違反者には罰金が科される場合がある。

イ 14日、ハバナ県を「限定的な国内感染段階」に後退。

ウ 29日、ディアスカネル大統領の主宰で開催された新型コロナウイルス対策会議にて、ハバナにおける既存の防疫措置の徹底化とともに、公共の場や行列、公園における子どもの滞在を禁止すること等を発表した。

エ 30日、キューバ政府は、入国者に対し2月6日以降開始される概要以下の水際措置を発表した。

- 海外から入国する全ての人に対し、施設における隔離を実施する。ただし、外国人観光客、企業関係者、技術協力者、キューバに駐在する外交団、外国メディア、公式代表団については、観光省、外国貿易・外国投資省及び外務省のプロトコルが適用される。
- 外国人については、地域ごとに定められたホテルに隔離し、滞在費用と移動費用は自己負担とする。
- 米国、メキシコ、パナマ、バハマ、ドミニカ共和国、ジャマイカ及びコロンビアから入国する商用便を減便する。
- ニカラグア、ガイアナ、トリニダード・トバゴ、スリナム行きの商用便は引き続き運休とし、ハイチ行きも新たに運休とする。

（了）